

和柔整臨時広報誌



Vol.87

令和8年1月号

INDEX

新年挨拶

各部だより・活動報告

支部だより

事務局だより/会員ひろば/編集後記



令和7年度 役員一同

新年のご挨拶



会長 岸田 昌章

あけましておめでとうございます。

今年の干支は丙午（ひのえうま）です。情熱・変化を象徴する午ですが、それではなぜ、「午」を「うま」と読むようになったのでしょうか？古代中国から後世となり動物をあてがったのが有力な説とのことですが、「午」（午後11時～13時）の時間帯に対応する記号で、「午前」や「午後」の時間帯をも表す文字に変化してきたとのことで、古代の知恵が凝縮された文化暗号なのです。

実際の「馬」は人間の生活に欠かせない存在でしたが、近代は品種改良がなされ、サラブレッドがその代表となり、スポーツとしての「競馬」が主流となりましたが、「ロバ」は小さく「ペルシュロン」は北海道の「ばんえい競馬」がその代表でしょうか。性格は大人しく優しく力持ちといった感じです。



前置きが長くなりました。そんな人間とも深い関りがある“午・馬”であるからこそ、少し詳しく説明しました。

移動手段や農耕、そして戦として馬が使われていたのは別に置くとして、少なくとも紀元前のようです。その後21世紀でも紛争はつきませんが、すっかり馬からミサイルやドローンなど文明が発達し、より甚大な紛争になっていることはご存じのはずです。そして国内に目を移せば、ガラスの天井がついに破られ、積極財政を政策として掲げていることに期待したいものです。

県内の業界ですが、先ずお断りしておきたいことは、保険者の言われるままに甘受しているのでは決してありません。本会も弁護士の方をも含む「受領委任払い適正化監視委員会」を設立し、昨年下半期に講習会を開催し、多くの柔整師が参加されたかと思えます。法治国家である日本は法に則り、施術録の正しい記入、その他もろもろの書類を整え・揃え・発行することが求められる、まさに「エビデンス」が必要になります。

療養費の申請は業界の一丁目一番地ですが、柔整学術については多くの方々は興味がなくても、行政的には学問としてどれだけの「エビデンス」を積み上げてきているかを問われます。次に療養費のアップについてもアンケート調査への回答数が増加しないことには、療養費のアップに疑問符が付けられます。せっかくの積極財政に便乗できません。「エビデンス」とは整復学の発表に留まってははいけません。アンケート調査への回答は、統計学の「エビデンス」となり得ます。マイナンバーカードの保険証機能も同じで、行政的にはスピード感をもって柔整師であること、患者さんの存在を確認することが可能になることが、DXに基づくエビデンスとなり、今後はデータがないものは行政的には認められないことは明白です。

最後になりますが、療養費問題も新年の挨拶文の通り、その歴史に始まり、いつまでもアナログ戦術ではなくデジタルに変化し、また「三者協定」によるエビデンスを最大限に発揮させ、必ずや有利な展開に進むことをお誓い致しますので、もうしばらくお時間を頂けますことを切に願って、新年の挨拶とさせていただきます。



各部だより

総務部 広報事業部

主任 平松 裕司

新年おめでとうございます。

昨年度までの総務経理部と柔道広報事業部が、本年度より以前の総務部・経理部・保険部・学術部・柔道部・広報事業部の体制に戻り、総務部・広報事業部は西岡部長・主任の私・小川部員・尾藤部員の4人体制でのスタートとなりました。

活動としましては、各行事の準備・運営・お手伝いを中心にホームページの管理・更新など様々な活動を行っております。

その中でも令和7年8月から11月まで計7回と2月22日開催予定を含む全8回に及ぶ「療養費取扱い適正化講習会」を初の試みとして、和歌山県国民健康団体連合会様との共催にて開催しました。

各会場では、開催支部の支部長をはじめ支部の先生方、保険部・事務局のご協力も有り、まさに総力戦といっても過言ではない事業となりました。改めてこの場をお借りして深謝申し上げます。

また、支部会でもご報告させていただきました会館の補修工事がすでに始まっております。しばらくは会員の先生方には御不便をお掛けいたしますが、人間万事塞翁が馬として善き方向に向かうきっかけになります事を祈念し新年の挨拶とさせていただきます。

総務部 活動報告

- ◇ 厚生労働大臣表彰 柔道整復業務功労者 ◇
- ◇ 厚生労働大臣表彰 労災補償行政功労者 ◇

日整70周年記念式典に於ける厚生労働大臣表彰にて「柔道整復業務功労者」にて岸 善昭会員、「労災補償行政功労者」にて黒田 善治会員が受賞し、令和6年12月15日開催の記念式典にて授与されました。

2月2日に開催された第1回合同講習会 開会前に多くの会員が見守るなか伝達表彰を行いました。



◇ 令和7年度定時総会 ◇

5月18日(日) JA和歌山ビルに於いて総会を開会いたしました。

開会に先立ち、県知事代理 県福祉保健部部長 吉野 裕也様、本会顧問 自民党和歌山県連会長 代行 山下 直也 県議会議員に御臨席いただき、御挨拶をいただきました。

その後、開会、会長挨拶、表彰、新入会員の紹介の後、定額会費改定議案、役員選任議案2本を含む4本の議案について審議・採決いただき、報告事項3本、各部からの報告を行い、最後に質疑応答を行い終了となりました。



表彰【会長感謝状】

本会の救護・トレーナー活動に累積10回以上参加された会員

紀北支部	荒井 伸幸	会員
紀南支部	太田 展史	会員
紀南支部	岡村 大	会員
紀南支部	小畑 友邦	会員
紀南支部	木本 匡巳	会員
紀南支部	松葉 康司	会員



伝達表彰【近畿ブロック会永年業務表彰】

表彰年度から満30年以前に入会の者

紀北支部	菊澤 健司	会員
紀北支部	森 浩唯	会員
和歌山支部	戸村 太	会員
有田支部	東 幸太郎	会員
有田支部	土屋 靖	会員
紀南支部	古久保 成紀	会員



◇第17回日整近畿ブロック親善ゴルフ大会◇

9月21日 奈良県奈良万葉カンツリー倶楽部にて「第17回日整近畿ブロック親善ゴルフ大会」が開催され、本会から3名の会員が参加しました。

横貫会員が個人優勝とドラコン賞、西川会員がニアピンとドラコン賞のW受賞、土屋部長がニアピン賞と参加された先生全員が賞をいただき好成績をおさめる結果となりました。秋めいてきた青空の下、他府県の先生方と有意義な1日を過ごすことができました。

今年は和歌山県が主管です。地元開催ということで和歌山の先生方にはぜひご参加いただければと思います。皆様のご参加お待ちしております。



広報事業部 活動報告

◇救護・トレーナー活動◇

救護トレーナー活動 スケジュール

活動日	名 称	参加会員			
広報事業部対応	2025.11.9 第23回和歌山ジャズマラソン	竹中 秋生			
		西岡 正人	平松 裕司	小川 穰	
		平野 相徳	神前 裕	南出 敦生	
2026.2.8	第25回和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会	西岡 正人			
支部対応	2025.10.26	第21回串本町民大運動会 -雨天のため中止-	藤本 光信	岡村 大	
	2025.11.9	第33回南紀日置川リバーサイドマラソン	古久保 茂紀	永濱 寛	中井 健
	2025.12.14	第18回新宮ジュニアレスリング大会	太田 展史	宮本 和人	中山 卓典
	2025.12.14	第17回串本ナンタンジュニアマラソン 第3回串本ナンタンミニ駅伝	古久保 成紀	岡村 大	
	2026.1.12	第69回海南市駅伝競走大会	神保 友則		
	2026.2.1	第28回紀州口熊野マラソン	古久保 成紀		
			竹中 秋生	松葉 康司	小畑 友邦
		木本 匡己	中井 健	能城 章人	
2026.2.22	第12回南紀田辺UMEロードマラソン	松葉 康司	木本 匡己	小畑 友邦	

※ 敬称略

現在、要請申込みがあった活動済み・予定の一覧です。ご参加いただきました会員の皆さまありがとうございました。

また、ご参加いただきます会員の皆さまよろしくお願いいたします。
今後も継続して活動を続ける予定です。参加されたことのない先生方も一度参加してみませんか。ご検討をお願いいたします。



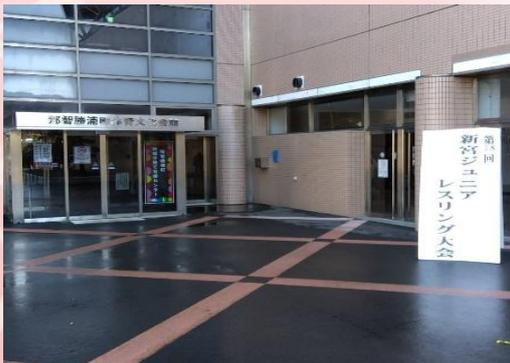
**第33回 南紀日置川
リバーサイドマラソン**



第23回 和歌山ジャズマラソン



**第17回串本ナンタンジュニアマラソン
第3回串本ナンタンミニ駅伝**



**第18回 新宮
ジュニアレスリング大会**

経 理 部

主任 岩橋 猛

新年おめでとうございます。

会員の皆さまにおかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は経理部活動にご協力賜り、お礼申し上げます。

今期、経理部は竹中副会長(兼務)、梅田部員と私で業務を行ってまいりました。昨年11月には、中間監査を無事終えることができ、おおむね良好でありましたことを、会員の皆さまにご報告させていただきます。

来期におきましても、本会の収入が大きく減少する見込みとなっております。引き続き経費の削減、事業活動の精査に努めてまいります。会員の皆さまには、今まで同様、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

日付	経理部会
1月17日	経理部会
2月12日	経理部会
3月12日	経理部会
4月10日	経理部会
5月14日	経理部会
6月20日	経理部会
7月15日	経理部会
8月22日	経理部会
9月19日	経理部会
10月17日	経理部会
11月20日	経理部会
12月19日	経理部会

保 険 部

主任 北岡 康二

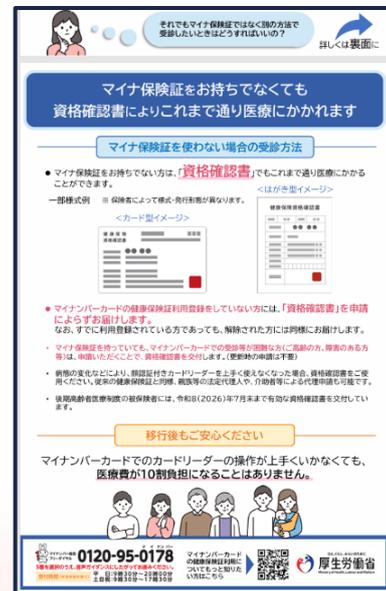
新年おめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。日頃より保険部活動へのご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

本年は、竹中副会長の下、松尾部長、尾西部員、尾藤部員、そして私（北岡）の体制で、より一層連携を強めながら取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

各支部より保険審査委員を選任し、情報共有の役割を担って運営してまいりました保険審査会は、昨年3月をもって休止となりました。これにより、支部を通じた情報共有の場が少なくなっております。誤解や認識のズレを防ぐためにも、本会行事や支部会をぜひ積極的にご活用いただき、正確な情報の把握と適切な取り扱いにご尽力いただければ幸いです。保険部としましても、これまで以上にわかりやすく、迅速な情報発信に努めてまいります。

昨年12月には紙の健康保険証が廃止され、マイナ保険証への完全移行となりました。資格確認にかかわる手続きは、患者様の安心にも直結する非常に重要な業務です。つきましては、今後も丁寧なご説明と、確実な運用体制の整備に引き続きご協力をお願い申し上げます。



それでもマイナ保険証ではなく別の方法で受診したいときはどうすればいいの？
詳しくは裏面に

マイナ保険証をお持ちでなくても、資格確認書によりこれまで通り医療にかかれます

マイナ保険証を使わない場合の受診方法

- マイナ保険証をお持ちでない方は、「資格確認書」でもこれまで通り医療にかかることができます。
- 一部種別別 ※ 保険者によって様式・発行形態が異なります。

マイナンバーカードの健康保険証利用登録をしていない方は、「資格確認書」を申請によりお届けします。

マイナ保険証を持っていても、マイナンバーカードでの受診等が困難な方（高齢の方、障害のある方等）は、申請いただくことで、資格確認書を受け取れます。（受診時の申請は不要）

資格の変更などにより、届届付付きカードリーダーで読み取れなくなった場合、資格確認書をご受取ください。従来の健康保険証と同様、健康保険証を本人や、介護者による受取が可能です。

後援 高齢者医療制度の保険者には、令和8(2026)年7月まで有効な資格確認書を受け取ることができます。

移行後もご安心ください

マイナンバーカードでのカードリーダーの操作が上手くいかなくても、医療費が1割負担になることはありません。

0120-95-0178
マイナンバーカードの申請・届出・変更・届出の受付時間についてはこちら
0120-95-0178
マイナンバーカードの申請・届出・変更・届出の受付時間についてはこちら

厚生労働省



一昨年以降、コロナ罹患中や入院中の施術に関する不正請求が発覚し、制度の信頼を揺るがす事態となりました。この事態を重く受け止め、令和7年3月15日に「受領委任払い適正化監視委員会」を設置し、療養費取扱い適正化講習会を複数回開催いたしました。既にご参加くださった皆様には心より御礼申し上げます。

講習会では、受領委任払い制度の適正な運用、業務範囲、施術録記載の重要性について改めてご理解いただきました。特に、施術の根拠や記録が不十分な場合や、協定に反する施術は不正請求と判断され、受領委任の取扱い中止という厳しい処分が科されるリスクがあることを深くご理解いただいたかと存じます。



制度の信頼を取り戻すためには、会員一人ひとりの取り組みが不可欠です。この点を踏まえ、日々の業務の中で「適正施術・適正請求」を常に意識し、引き続き、適正な取扱いをお願いするとともに、一丸となって信頼回復を進めていきたいと存じます。



その一環として、問題点の改善と適正化の徹底を目的とした個別指導も順次行われております。

また、**令和8年2月22日には合同講習会の開催も予定しておりますので、皆様のご参加をお願い申し上げます。**



なお、公的審査会での疑義照会による支払い保留案件につきましては、本会執行部にて対応を進めております。会員の皆様に不利益が及ばぬよう、引き続き慎重かつ丁寧に取り組んでまいります。

最後になりますが、保険部は現状を真摯に受け止め、情報収集や保険者との交渉に粘り強く取り組んでまいります。会員の皆様におかれましても、患者様・保険者との信頼関係を大切にしながら、それぞれの現場で力を尽くしていただければ幸いです。ともに厳しい保険情勢を乗り越えていきましょう。引き続き、保険部活動および連盟活動へのご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

令和7年度療養費取扱い適正化講習会 開会

柔道整復師法（昭和45年4月14日施行 平成2年3月29日改正）および健康保険法に基づく、受領委任払いに関する柔道整復師の施術に係る療養費の算定基準の実施上の留意事項等の通知(平成9年4月17日)についてなどを遵守し保険業務を適正に運用することで、患者および保険者の不利益にならないように県内すべての柔道整復師を対象に和歌山県国民健康保険団体連合会様との共催により開催いたしました。

療養費取扱い適正化講習会 詳細一覧

	開催日時	曜日	開催場所	講師名	本会		社団 会員 以外
					会員	勤務	
1	8月23日 15時～17時	土	田辺市 市民総合センター	全国健康保険協会和歌山支部 業務部 業務グループ グループ長補佐 牛島 晃一様 和歌山県国民健康保険団体連合会 常務理事 横山 達伸様	34	1	13
2	8月30日 14時～16時	土	御坊市立 中央公民館	和歌山県国民健康保険団体連合会 常務理事 横山 達伸様	14	1	14
3	9月13日 14時～16時	土	かつらぎ 総合文化会館	全国健康保険協会和歌山支部 業務部 業務グループ グループ長 井上 芳樹様 和歌山県国民健康保険団体連合会 理事 栗生 和幸様	36	1	15
4	9月27日 14時～16時	土	和歌山県JAビル	和歌山県国民健康保険団体連合会 常務理事 横山 達伸様	56	0	38
5	10月11日 14時～16時	土	和歌山医療 スポーツ専門学校	和歌山県国民健康保険団体連合会 理事 栗生 和幸様	25	2	13
6	10月25日 14時～16時	土	和歌山県JAビル	和歌山県福祉保健部福祉保健政策局 国民健康保険課 副課長 梅山 岳人様 全国健康保険協会和歌山支部 業務部 業務グループ グループ長 井上 芳樹様 和歌山県国民健康保険団体連合会 常務理事 横山 達伸様	36	1	25
7	11月1日 14時～16時	土	海南 スポーツセンター	和歌山県国民健康保険団体連合会 理事 栗生 和幸様	20	2	4
合 計					221	8	122

保険部 活動報告

月	日	内 容
1	6	新年挨拶
	7	保険部会（審査会・返戻チェック）
	14	会員指導
	23	会員指導・保険研修
2	2	第1回 合同講習会
	8	保険部会（審査会・返戻チェック）・新人研修
	10	会員指導
	12	損害保険料算出機構との研修会
3	8	保険部会（審査会・返戻チェック）
	10	会員指導
4	12	会員指導
	22	会員指導
5	10	新人研修
	20	会員指導
6	7	新人研修
	20	会員指導
7	18	会員指導
8	7	新人研修
	20	会員指導
11	8	新人研修
12	22	会員指導



学 術 部

主任 中尾 了

新年おめでとうございます。

会員皆さまにおかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は、學術部活動にご協力賜り誠にありがとうございます。

本誌におきまして、下記に令和7年度の報告をいたします。

學術部 活動報告

◇論文勉強会◇6月7日（土） ズームウェビナーにて

論文勉強会は、論文原稿作成要領、論文発表の仕方・作り方、論文の構成や作成の注意点、パワーポイントの使い方、スライド作成要領についての勉強会です。

◇発表者との打合せ◇6月7日（土）

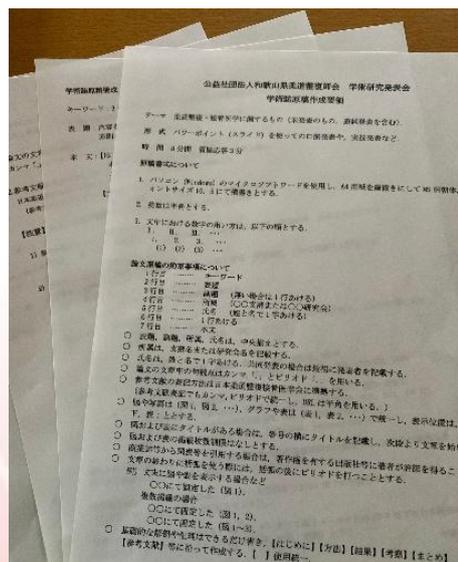
ズームウェビナーにて

第45回学術研究発表会に向けて、上記の日程で発表者との打合せを行いました。発表者の中には、初めて発表される会員や複数回発表されている会員がおられますが、論文勉強会でお伝えした内容で論文作成を進めていただければ初めてでも何も問題はありません。また、パワーポイントを使ったスライド作成においても、學術部がサポートいたしますのでご安心ください。

発表者の選出には、個人で応募いただける場合、また各支部からの代表で選出され発表される場合、各研究会から代表で選出される場合があります。共に学術研究発表会を盛り上げていただいております。

今回から打ち合わせが1回限りとなりましたがご連絡いただければサポートできる体制を取っております。

皆さまのご応募を心よりお待ちしております。





◇近畿学術大会◇

第48回近畿学術大会兵庫大会が、会場参加とWEB参加のハイブリッド方式で令和7年10月26日に開催されました。第Ⅱ会場で配信環境の不具合等ご不便をおかけいたしました。おかげをもちまして立ち見が出るほど多くの方々にご参加いただくことができました。



次の第49回滋賀大会第18回大阪学術大会（次から大阪も参加）でも会場参加とWEB参加のハイブリッド方式となります。草津での開催ですが多くの方に足を運んでいただけますことを願っております。より多くの学びを得られるよう盛り上げてまいります。より多くのご参加のほどよろしくお願いいたします。

◇学術勉強会◇

和柔整会館での開催となります。

※会館改修のため変更の可能性あり

第1回学術勉強会を令和7年12月20日（土）

第2回学術勉強会を令和8年 3月 8日（日）

骨折・脱臼等を中心とした「外傷」をメインテーマとしております。日常よくみられる外傷なども含めて講師先生方をお願いして、第1回では整復固定法を症例も交えて第2回ではテーピングの方法を中心に開催しております。より良い勉強会にしていきたいと部一同考えております。ご参加のほどよろしくお願いいたします。



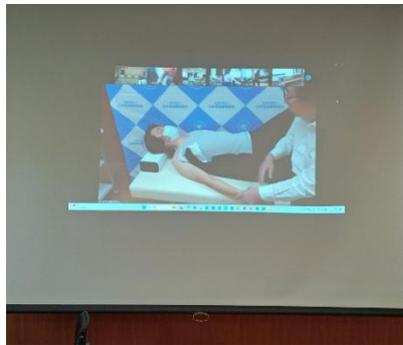
◇第1回合同講習会 第45回学術研究発表会◇

2月22日(日)プラザホープにて貴重な経験を発表いただきます。
多くの会員皆さまにご参加いただきたく存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

◇匠の技伝承プロジェクト指導者養成講座◇

- 第1回日整水準指導者評価講習会 4月13日(日)
- 第2回日整水準指導者評価講習会 8月17日(日)
- 第3回フォローアップ講習会 11月30日(日)
- 第4回フォローアップ講習会 2月8日(日) 受講予定

講座はムウェビナーを用いて骨折・脱臼の整復・固定、ズー超音波観察装置による実技を会員皆さまに情報共有できるように学術部員3名が受講しております。



◇匠の技技術講習会◇

2月15日(日) 10時～13時

骨折・脱臼の整復・固定、超音波観察装置の実技を会員皆さまと情報共有する講習会です。超音波観察装置の貸出利用も行っており、体験していただくことがより良い施術の近道であると考えております。会員皆さまのご協力とご参加のほど、どうぞよろしくお願いいたします。



◇第34回日本柔道整復接骨医学会学術大会◇

今回は帝京平成大学中野キャンパスで令和7年12月6日(土)～12月7日(日)対面開催にて行われました。今大会では非会員限定で参加費の半額補助があり、多くの演題が2日間にわたり開催されました。

第34回 The 34th Congress of Japanese Society of Judo Therapy
日本柔道整復接骨医学会学術大会

エンジョイ学会! エンジョイ柔道整復接骨医学!
～オール柔道整復の学会をめざして～

日 時	大会学術費
2025/12/6(土)・7(日)	正会員 8,000円 副会員 7,000円 学生会員 5,000円 聴講費 2,000円

会 場 帝京平成大学 中野キャンパス

大会長 沖永 寛子 帝京平成大学 医学部 准教授

大会学術費 12/6(土) 14:00～15:00
「エンジョイ学会! エンジョイ柔道整復接骨医学!」

大会長対談 12/6(土) 15:15～16:00
「松井さんと語る、柔道整復師のキャリアアップ」

沖永 寛子
帝京平成大学 医学部 准教授、東京理科大学 医学部 准教授、
日本柔道整復接骨医学会 理事、日本柔道整復接骨医学会 学術部 部長、
日本柔道整復接骨医学会 学術部 学術委員長、
日本柔道整復接骨医学会 学術部 学術委員

松井 寛
日本柔道整復接骨医学会 理事、
日本柔道整復接骨医学会 学術部 学術委員長、
日本柔道整復接骨医学会 学術部 学術委員

【お問い合わせ先】
日本柔道整復接骨医学会 事務局
〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1
TEL:03-5561-1111 FAX:03-5561-1112
E-MAIL: info@jstj.or.jp
http://www.jstj.or.jp/congress/34th/

学術部においては引き続きWEB開催を取り入れていくことで、会員皆さまに便利かつ気軽に学会や講習会に参加していただけるのではないかと考えております。

しかし整復固定法などの力加減や包帯などの巻き加減、超音波観察装置のプローブワークなどの細かな所は実際に対面で行うほうが分かりやすい部分もあります。うまく使い分けていこうと思います。

学術大会においてもガイドライン作成など直接、療養費とも結びつくような内容も入ってくるのでお見逃しなく。

様々な方法により会員皆さまに最新の情報を発信していければと考えております。一生懸命、一致団結して今後も活動を進めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

引き続き、会員皆さまの柔道整復術に資するよう、情報を発信して参ります。

◇第45回学術研究発表会

令和8年2月22日(日)開催予定の令和7年度第1回合同講習会内にて開催します。発表会自体は午後1時30分からとなりますが多くの先生方のご参加よろしくお願ひします。

また、発表会はLIVE配信でもご覧いただけますので会場での参加が難しい場合はご利用ください。※LIVE配信は学術研究発表会のみに対応です。

今年度は下記4演題の発表です。

紀北支部 埜 明也 会員

「急性期の筋損傷に対する積極的温熱療法の適応判断」

和歌山支部 平松 裕司 会員

「左第2指関節脱臼における考察」

手技研究会 中井 健 会員

「柔道整復師の可能性について」

固定法研究会 竹中 秋生 会員

「下腿部内側部の疼痛に対する柔道整復師からみた受傷機転について」

[第45回学術研究発表会 ホーム](#)

[ページ](#) ※ 詳細はこちらをご覧ください。

学術誌のホームページへの掲載は1月中旬を予定しています

柔道部

主任 横貫 博崇

新年おめでとうございます。

会員の皆さまにおかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は柔道部の活動にご協力賜り、お礼申し上げます。

今期より土屋部長、荒井部員そして私(横貫)の3人体制で活動させていただいています。また、和柔整柔道倶楽部の指導につきましては荒井部員を中心に神前裕会員、平松裕司会員、西岡正人会員と私の5人体制で活動させていただいています。柔道倶楽部の練習には上記会員の他にも柔道愛好家の先生方にも練習にご参加いただきご指導いただいています。

柔道倶楽部のみならず柔道部が行う活動は多くの先生方のご理解ご協力が不可欠です。今後ともよろしくお願いいたします。

また、昨年より日整柔道大会が再開されるのに合わせ「近畿ブロック柔道大会」も再開されております。多くの先生方のご参加をお待ちしております。

柔道部 活動報告

◇第7回(公社)和歌山県柔道整復師会少年柔道形競技会◇

本会会館柔道場にて全柔連公認形審査員3名をお招きし、県内4団体5チームにご参加いただき開催いたしました。今回優勝された滝川塾チームは11月16日(日)開催の第15回日整全国少年柔道形競技会へ和歌山県代表として出場いただきました。



優勝チーム

優勝：滝川塾 チーム

取) 藤原 咲羽 受) 竹内 悠真

準優勝：山下塾A チーム

取) 津村 輝 受) 西山 弦汰

3位：岩出市柔道スポーツ少年団 チーム

取) 岩崎 颯生 受) 西山 叶翔

◇第37回(公社)和歌山県柔道整復師会少年柔道大会◇

6月29日(日)和歌山ビックウェーブにて県内小学生の高学年・低学年 各20チーム 合計192名の選手にご参会いただき、団体戦トーナメント方式にて開催しました。本大会は柔道の普及と少年少女の健全な育成を目的として開催しております。

開会式では和柔会道場 梅津 関心選手による選手宣誓が行われました。

開会式終了後には、第7回和柔整少年柔道形競技会で優勝チームによる演舞が行われました。

取 滝川塾 藤原 咲羽 選手
受 滝川塾 竹内 悠真 選手

なお、本大会の高学年の部にて優勝された岩出市柔道スポーツ少年団チームは、第34回日整全国少年柔道大会(令和7年11月16日東京講道館)に出場いただきました。



【高学年の部】

優 勝	岩出市柔道スポーツ少年団
準優勝	上富田少年柔道振興会
3 位	和柔会道場
3 位	正木道場



低学年の部】

優 勝	岩出市柔道スポーツ少年団
準優勝	日高町柔道教室
3 位	和柔会道場
3 位	久保井塾

◇公益社団法人日本柔道整復師会 帰一賞精錬賞受賞◇

6月22日（日）（公社）日本柔道整復師会会館（東京都）において、令和7年度通常総会が開催され、開会前には、（公社）日本柔道整復師会の最高栄誉賞である「帰一賞」その中の柔道の発展等に大きく寄与したものに贈られる「精錬賞」を和歌山支部の黒田善治会員が受賞し、授与されました。本県の「精錬賞」受賞は、昨年度の平野相徳会員に続き二人目となりました。

また、第37回公益社団法人和歌山県柔道整復師会少年柔道大会開会式に先立ち、伝達表彰を行いました。



◇第6回近畿ブロック会少年柔道合同練習会◇

9月28日、ロート奈良第二武道場において「令和7年度近畿ブロック会少年柔道合同練習会」が開催されました。和歌山県からは今秋開催された「日整全国少年柔道大会」、「日整全国少年柔道形競技会」に和歌山代表として参加する選手を中心に練習会に参加しました。



◇第46回近畿ブロック柔道大会◇

7月27日（日）「第46回近畿ブロック柔道大会」が京都府柔道整復師会会館（西京極）にて開催されました。本会からも「日整全国柔道大会」へ出場する近畿代表選手選考を兼ねた年代別選手権に土屋部長が、日頃の練習成果を試し、親睦を深めることを目的とした紅白試合には4名の会員が出場しました。

コロナ禍前までは毎年近畿各府県を周りながら行っていましたが、令和2年度からは中止しており6年ぶりの開催となりました。



◇和柔整柔道倶楽部◇

平成19年度より本会会館3階柔道場を使用し、柔道部を中心に小学生以上を対象とした柔道教室を毎週土曜日の午後4時から開催しております。現在、部員は26名で毎週元気に活動しています。



◇第34回日整全国少年柔道大会◇
◇第15回日整全国少年柔道形競技会◇

11月16日（日）「第34回日整全国少年柔道大会」「第15回日整全国少年柔道形競技会」が講道館（東京都）にて開催されました。本会からは「日整全国少年柔道大会」へは岩出市柔道スポーツ少年団、「日整全国少年柔道形競技会」へは滝川塾チームが出場しました。

両チームともに元気に大会に参加し、精一杯頑張ってくれました。全国規模の大会に参加し、選手たちそれぞれに感じたことがあったと思います。今後の活動、生活に生かしていただければと思います。



※大会の様子は日整ホームページにてご覧ください。

[柔道大会](#) | [公益社団法人日本柔道整復師会](#)

支部だより

紀北支部

支部長 岩橋 猛

新年あけましておめでとうございませう。

平素は支部活動にご理解、ご協力いただきありがとうございます。年々、会員数が減少している中、昨年は1名の新規入会会員を迎えることができました。今後、本会および支部活動に積極的に参加していただければと思います。

昨年9月にかつらぎ町で開催した療養費取り扱い適正化講習会には、支部会員の多くが出席されました。出席率を見ても、皆さんの危機感が感じ取れます。一人ひとりが今一度、療養費請求について考える良い機会になったと思います。

あと1年、支部長として支部会員のお役に於けるよう努力してまいります。よろしくお願ひします。



和歌山支部

支部長 平松 裕司

明けましておめでとうございませう。

前頁での(兼任している)総務部・広報事業部主任に引き続き新年の挨拶となります。事業部を失礼致します。

兼任しているが故に会員・支部長・総務部・広報事業部主任に加え互助会代表として事務局と連絡し合う事が度々あり、書きを最初に申し上げてはいるものの事務局の皆様にはウザがられてはいる可能性も否めない。この場をお借りして謹んでお詫び申し上げます。

ただこれらの兼任は連動している事もあり、様々な情報を共有出来るメリット等が少々あったりもしますので、上手切り替えながら活動する事で支部会員の先生方が変動の時期を乗り切る一助になります事を祈念しつつ勤しんで参ります。

色々お助け頂く事も多々ございますが、御指導及び御協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

海南支部

支部長 神保 友則

謹んで新春のお慶びを申し上げます。
平素より支部の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

今年の支部活動といたしましては第69回
海南市駅伝競走大会（令和8年1月12日）の救護トレーナー活動に参加予定です。
今年も本会及び支部活動においてご協力のほど宜しくお願い申し上げます。



有田支部

支部長 松本 光司

明けましておめでとうございます。

会員の皆さまにおかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は支部活動にご協力いただき厚く御礼申し上げます。

昨年は緊急保険講習会などの「受領委任払い適正化」・物価高騰など大変厳しい状況となりました。本年も本会保険部と協力して支部活動を行いたいと思っておりますので、会員の皆様方のご協力とご指導のほどよろしくお願ひいたします。簡単ではございますが、新年のご挨拶とさせていただきます。

今後とも、よろしくお願ひいたします。



御坊支部

支部長 尾崎 光彦

令和6年度の保健衛生・薬事衛生・生活衛生の各分野で多年にわたって献身的に活動し、事業の発展に貢献した人の県の功労者表彰の受賞者に保健衛生(医事)功労で日高地方から北岡武彦先生が受賞されました。

今年には柔道整復師にとつて暗い話題ばかりで、保険請求でも厳しい状況の中、御坊支部にとつても唯一明るい話題となりました。

北岡武彦先生おめでとうございます。



紀南支部

支部長 古久保 成紀

新年おめでとうございます。

平素は支部活動へのご理解ご協力を賜りましてありがとうございます。
本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

令和7年度 紀南支部に於ける「救護・トレーナー活動」(予定を含む)
について、ご報告いたします。

・ 10月26日(日) 「第21回串本町民大運動会」

残念ながら、雨天中止となりました。

・ 11月9日(日) 「第33回南紀日置川リバーサイドマラソン」

当日は早朝から生憎の天候で、途中激しくなる風雨の中、幼児から大人まで700名以上が参加され、本ブースには14名の方が利用されました。

そのような中でも、各沿道では多くの関係者や地域住民の方々への応援される姿がみられ、また飲食販売テントやキッチンカー等の出店もあり心温まる賑やかな大会となりました。

・ 12月14日(日) 「第17回串本ナンタンジュニアマラソン記録会」

「第3回串本ナンタンミニ駅伝」

「第18回新宮ジュニアレスリング大会」

・ 1月18日(日) 「第44回熊野路少年柔道大会」

・ 2月1日(日) 「第28回紀州口熊野マラソン」

・ 2月22日(日) 「第12回南紀田辺JMEロードマラソン」

ご参加くださいました会員方、また今後ご参加予定の会員方ありがとうございます。今後ともよろしくお願い申し上げます。



事務局だより

新しい年を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。

昨年も本会の活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございました。

世界では変化のスピードがますます加速しています。AIや環境問題、国際情勢など、日々のニュースに触れるたびに「持続する力」の大切さを感じます。私たちの会も、時代の波に揺られながらも、地域に根ざして歩みを続けてまいります。

さて、私たちの誇りである和柔整会館ですが、窓には穴、天井からは雨漏り、電気はつかず、換気扇はただのインテリア、トイレは「使用不可」の張り紙が似合う・・・そんな哀愁漂うわが会館も、ついに「40年目の節目」を迎えました。

ここまで来ると、もはや“昭和レトロ体験館”として観光資源にできそうですが、さすがにリフォームに踏み切ることとなりました。

松下幸之助翁の地・和歌山に建てられて以来、柔道整復師の歴史と共に歩んできたこの建物。年月の重みは、畳のきしみや壁の色あせにもしっかりと刻まれております。まるで「ここまで頑張ったんだから、そろそろ休ませてくれ」と建物自身がつぶやいているようです。

隣の「宅建」さんは早々にリフォームを済ませてピカピカですが、わが会館はといえば、先代が大枚をはたいて建ててくださったおかげで、「雨にも風にも負けず」に今日まで踏ん張ってきました。

世の中には「安物買いの銭失い」という言葉がありますが、うちの会館はその逆。工務店の方が「ここまでやるか」と目を丸くするほど、天井から電気設備、窓やドアまで、立派に尽きる建て方をしてくださったおかげで長年耐えてきたのです。

そんな頼もしい会館も、これからの改修は「次の世代への贈り物」となります。第1と第2研修室を可動式壁で仕切り大きな部屋にすることで、講習会が開催でき会場費が浮くという、まさに「節約と機能美の二刀流」です。さらに、会議室の賃貸やレンタルオフィスとして活用すれば、固定資産税の一部をまかなえる収入源にも。会館が「働く建物」へと進化する瞬間です。

新しい手を加えることで、これからも長く見守り続けてくれるでしょう。

本年も「たえる力」と「つなぐ心」を大切に、会員の皆さまと共に歩んでまいります。引き続き和柔整事務局に変わらぬご指導とご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

会員ひろば

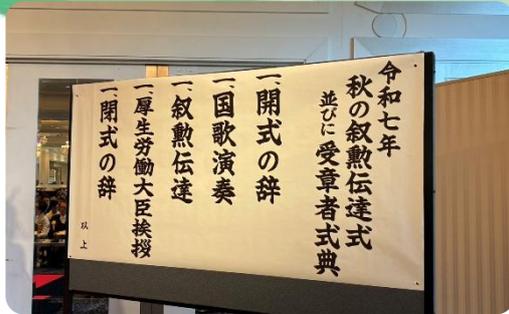
令和7年度 保健衛生(医事)功労者 知事表彰受賞



保健衛生に関する功績に対し、和歌山支部の岩田泰宏会員が令和7年度知事表彰を受賞しました。

贈呈式は令和7年11月17日(月) ホテルアバローム紀の国「鳳凰の間」で執り行われました。

令和7年秋の叙勲において「旭日双光章」を受章



保健衛生の分野における永年のご功績が高く評価され、有田支部の原正和会員が、令和7年秋の叙勲において栄えある「旭日双光章」を受章されました。

伝達式は令和7年11月28日（金）、ホテルニューオータニ「鳳凰の間」にて厳粛に執り行われました。

令和7年秋の叙勲知事伝達式

保健衛生の向上に寄与された永年のご功績が高く認められ、有田支部 原正和会員が、令和7年秋の叙勲において「旭日双光章」の栄誉に浴されました。

和歌山県知事伝達式は、令和7年12月8日（月）、和歌山県庁4階「正庁」において厳粛に執り行われ、原会員に勲記および勲章が伝達されました。



訃報

森谷 利男 会員 (和歌山支部) 享年67歳 令和7年6月17日
ご逝去されました。
心よりご冥福をお祈りいたします。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

皆さま、本誌をお読みいただきありがとうございます。この臨時広報誌も今回でVOL.86となりました。発刊ペースが以前とは変わり年一回となり、前回からは冊子化せず、本会ホームページ上に掲載という形をとらせていただいております。時代とともに形式は変わってきますが広報誌発行に対するの思いや気持ちは変わらないのではないのでしょうか。

執行部、各部主任、各支部の支部長より文書をお預かりし、各先生方の本会の現状認識やこれからの思いを一身に受けながら作成させていただいています。その折々に問題を抱えながら年末のこの押し迫ったなか少しでもくる年が幸多い年になることを願いながら同じような気持ちで作業されたことと思いながら編集させていただきました。

令和8年こそは、会員の皆さまに幸せ多き年となることをお祈りいたします。
本年もなにとぞよろしくお願いいたします。